

平成 29 年度（第 61 回）船員労働安全衛生月間について

“元気に乗船 笑顔で下船 皆で取り組む ゼロ災害”

1. 月間活動の概要

船員労働安全衛生月間は、海上における船員労働安全衛生思想の普及、船舶所有者や船員による自主的な安全衛生活動の促進等により船員災害の防止を図ることを目的として昭和 32 年度から実施され、今年度で 61 回目を迎えた。

平成 29 年度は、9 月 1 日から 30 日までの 1 ヶ月間、主唱者（国土交通省、水産庁）、協賛者（船員災害防止協会、地方（地区）船員労働安全衛生協議会等）、協力者（関係行政機関、関係地方自治体、船主団体、労働組合、関係法人等）及び実施者（船舶所有者、船員）が一致協力して、全国各地において積極的な活動を展開した。

今年度は、特に高年齢船員の災害疾病防止対策に重点的に取り組むこととし、各地域で開催された船員災害防止大会等において講演等が行われた。

2. 各地域における活動

(1) 大会、講演会等の開催

①船員災害防止大会 18 箇所 1,285 人

船舶所有者や船員等の関係者の意識向上を図るため、各種講演、大会宣言の採択、船員労働災害防止優良事業者認定証の伝達や、保護具の展示・相談会を実施。

〔 ・室蘭市・塩竈市・横浜市・新潟市・敦賀市・大阪市・舞鶴市・和歌山市・神戸市
 ・姫路市・広島市・尾道市・境港市・岡山市・周南市・高松市・福岡市・那覇市 〕

②講演会、講習会等 60 箇所 2,987 人

1. 生存対策講習会（サバイバルトレーニング）
2. 高年齢船員の災害疾病防止対策
3. WIB 講習会（船内向け自主改善活動）
4. 保護具等の展示及び説明会
5. 衛生関係講演（メンタルヘルスケア、救護措置、生活習慣病、食中毒予防等）

(2) 船員無料健康相談所の開設 114 箇所 765 人

月間中に（一社）日本海員掖済会、（一財）船員保険会、（独）地域医療機能推進機構、地方運輸局長等が指定した医師の協力を得て船員無料健康相談所を開設し、健康相談を実施した。

(3) 訪船指導 281 箇所 1,521 隻

各地域又は業種の実態に応じて指導すべき船舶を選定し、安全・衛生に関するリーフレットを配布する等訪船指導を行った。

(4) その他

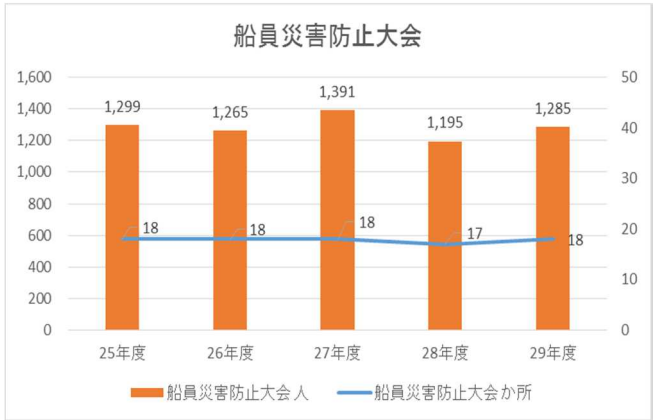
操業中の漁船や船員に対して、巡視船、県漁業取締船等による月間実施の周知や、カーフェリーの防火・退船操練、船内調理場内の衛生検査等を実施した。

※数値は暫定です。

船員災害防止大会



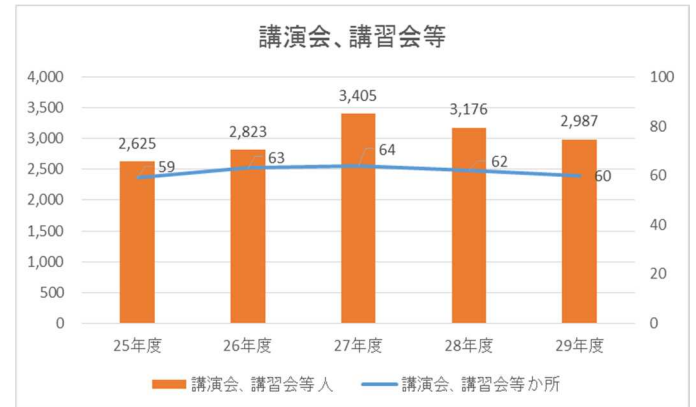
過去5年間の実績



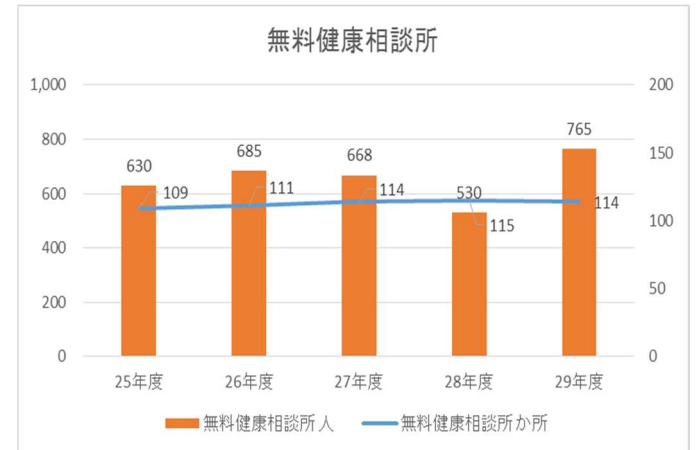
サバイバルトレーニング



救命いかだへの乗り込み



講習会



訪船指導

